

# 子育て学習講座【西条市】

～学校や地域とともに築く家庭教育～

## ◆活動の目的・理念

●各年齢層の児童・生徒を持つ保護者のために、参観日や保護者会等の機会を利用し、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育の向上を図ることを目的とする。

活動拠点	-	講座・学習 会開催数	56 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	2 回	連携・協力 団体・機関	小学校25校、中学校10校、各小中学校PTA				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 元教職員	名	子育てサポーター・リーダー PTA役員	名	民生委員・児童委員 保健師	名	名
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	名

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- 小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座
  - ・就学前の子どもを持つ親を対象とした講座
  - ・各小学校単位で実施
- 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座
  - ・小学生の子どもを持つ親を対象とした講座
  - ・各小学校単位で実施
- 中学校での参観日等を活用した子育て学習講座
  - ・中学生の子どもを持つ親を対象とした講座
  - ・各中学校単位で実施



<グループに分かれて、ワークショップ>

### 保護者の感想

- ・相談できる場所を知り、何かあれば相談したいと思った。安心して悩みを相談できそうだ。(就学時「子育てを振り返って」ほか)
- ・子どもが今困っている、その不安を取り除いていけるような親でありたいと思った。お母さんならちゃんと話を聞いてくれるという信頼を得られる親になりたい。(就学時「困った子は、困っている子」ほか)
- ・子どもとお金の使い方、スマホの使い方について真剣に考える良い機会になった。(思春期「中学生の金銭感覚」)



<絵本の読み聞かせ>  
絵本「おやおやじゅく」の読み聞かせを通して、親の仕事・役割を学びました。

### <特色ある取組>

- PTA会長や専門部の部長が講師になる！  
PTA専門部会に分かれて話し合いをした。PTA会長や専門部長が講師を務めることで、身近な話題を共有して、悩み事を話し、解決することができた。
- 「えひめ家庭教育応援プログラム『もうすぐ小学生』」の活用  
ワークショップ形式で行い、講演を聞くだけでなく、保護者が就学前の不安感等について、自分の思いを言葉にしたり、考えを交流したりすることができた。
- 講座開催時間の工夫  
2校時と4校時に参観授業を分散し、間の時間に講演会を実施したことで、参加者数が増えた。



<子育ての悩み相談>  
PTAの会長や部長が講師となり、話し合いをしている様子

## 事業を実施して

### 【成果】

- 地域在住の方を講師にしたり、ワークショップを取り入れることで、入学前に保護者間の交流ができ、不安感を少しでも取り除くことができた。
- 発達障がいについて理解を深めることができた。対応の仕方や関係機関との連携の仕方がわかり、保護者の安心につながった。

### 【課題】

- 小グループでの話し合いは、盛り上がり時間配分を超過することがあったり、また、発言することに抵抗感がある保護者にとっては、しんどい思いをさせてしまうことになった。
- 一般的に講師の年齢が高くなっている。幼児を育てている世代とかけ離れてしまうので、若い世代の講師の発掘が必要だ。